

# 大乘持経寺報

令和6年12月号  
第24号

## 住職指導

「師走」の時節になりました。「折伏前進の年」も早一ヶ月を残すのみとなりました。

皆さん、年初に打ち立てた誓願は達成されたでしょうか。まだの方は後一ヶ月一生懸命に頑張ってください。何事も願いを叶えていくことは、容易ではありません。でも諦めた時点で絶対に達成できません。だから大変でも最後まで諦めずに頑張ることが大切です。

猊下様はお目通りの時に、必ずと言って、私共僧侶に対して「皆さん折伏はできていますか。折伏ができないのは、折伏をしていないからできないのです。」と仰せです。

持経寺の現状は余り折伏が進んでいません。それは持経寺の皆さんが折伏していないから、折伏ができていないのです。だから此からは、皆で折伏実践に頑張ろうではありませんか。皆で動けば、必ず支部の何処かで折伏ができます。講中一同で今年の最後まで諦めずに唱題根本で折伏に動き、成果を出していこうではありませんか。皆様の精一杯の頑張りをお願いいたします。

今月の「師走」は毎日が忙しいと言うことです。この様な時こそ魔が競います。諸天の御加護をいただくためにも日々の勤行、唱題に励みましょう。また病気や事故等にも充分気を付けましょう。以上

## 『役員挨拶』 総代兼副講頭 北山 博通

令和6年も師走を迎えようとしています。慌ただしく過ぎていった1年が、さらに慌ただしさを増していきます。令和6年を悔いなく終わられるように、後1か月、誓願目標の達成に向けて、努力していきたいものです。

11月は御会式、そして支部総登山がありました。御会式では『立正安国論』や『申し状』が御住職様をはじめとする御僧侶により奉読され、身の引き締まる思いになりました。支部総登山では御開扉の厳粛さ、妙蓮寺様への参詣に心が震える思いがしました。この感動を講員の皆様と共有し、一層の信心に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 『御会式に参詣して』 婦人部 矢野 久江

今年の6月 静岡県伊東市宇佐美の竜眼寺から移籍しまして、何十年振りでの御会式に参詣させて頂きました。一年の中の一番大切な行事を、皆様の心のこもったいっぱいのお花で華やかな持経寺、神奈川県のご住職様方の『申し状』の拝読。私は今まで、中ぶらりんな信心で法華講員として恥ずかしくなりました。これからはできるだけお寺の行事に参加したいです!今回、御会式に参詣でき幸せです。



## 『御会式に参詣して』 婦人部 秋葉 佳代

我が家は夫と子供3人の5人家族ですが、それぞれの自我があり、家族揃ってお寺に参詣することがなかなか難しい状況です。そんな中、御会式には家族全員で参加することができた上に、私は御献膳下げのお手伝いをさせていただき、さらに家族で御住職様方のお見送りというお役目もいただきました。

この大切な機会に少しでも貢献することができ、喜びと共に感謝申し上げます。

## 『御会式に参詣して』 壮年部 馬田 伸明

10月28日に腎臓の手術をして、その後、色々な病気が見つかり入院が長びいていました。ですが、11月17日の御会式には絶対に参詣したいと願っていたので、一生懸命に唱題し御祈念しました。そうすると日に日に体調が良くなり、無事に御会式に参加することができました。御本尊様に心から感謝申し上げます。

また、皆様にもたくさん御祈念していただき、そのお陰で元気に退院し御会式に参加することができました。皆様、ありがとうございました。

## 『御会式に参詣して』 婦人部 齋藤 文子

11月17日持経寺にて、御会式御正當会が厳粛かつ盛大に奉修されました。私は御僧侶方のお出迎えの係を担当しました。事前のリハーサルのおかげで本番では、ご案内、鞆、雪駄などの係を無事終えることができました。

やがて法要は、厳粛に進行し、法運寺御住職様の漆畑正育御尊師より布教講演をいただきました。忙しさにかまけて、己心の魔に負けている自分に対して、折伏への決意を新たにし、信心の大きな糧とさせていただきます。

本堂のお花も見事でした。8月からご住職様や講員の方々が準備されて飾られました。私はお手伝いできなかったのですが、来年こそはお花づくりをお手伝いしよう決めました。

去年は、お花をベッドで待っていた母に報告し飾ると、母は、目を細めて眺めていました。その母も今年1月に亡くなり、御住職様の御回向をいただき、安らかな旅立ちを見送る事が叶いました。その間、折伏の親である青木宣子さんには、色々とお話をいただきました。

兎に角、今回の係は皆様と共に、そして何より相方の矢尾美咲さんと楽しく、御尊師方のお出迎えやお見送りをさせていただくことが叶い、本当に御会式に参加して幸せ。

## 『支部総登山に参詣して』 婦人部 佐藤 裕子

今年最後の支部総登山に参加させて頂きました。今年も御住職様と講中の皆様と一緒に御登山させて頂けた事を大御本尊様へ報告及び感謝申し上げます。御開扉を受けさせて頂く度に心の中からこんこんと湧く泉の如く、感動と感謝の念が溢れ出て、目頭が熱くなり、本当に有難い事と感じております。

今回は南条時光様ゆかりの寺院でもある妙蓮寺様へも参詣させて頂きました。妙蓮寺の御住職様よりお話しを拝聴させて頂き、お寺の佇まいを拝見し、自分が今信心をさせて頂けている事を、妙蓮寺様の御本尊様へ感謝申し上げます。本当に感動と感謝の支部総登山 となりました。有り難う御座いました。

